

印西地区県道整備を加速

鎌ヶ谷本埜線バイパス・印西印旛線小林駅前

約9割の用地取得
鎌ヶ谷本埜線バイパス
滝田議員 道路問題についてうかがう。県道鎌ヶ谷本埜線バイパスの進捗状況と今後の見通しはどうか。
県土整備部長 県道鎌ヶ谷本埜線については、印西市

北千葉道路をはじめ徹底して現場を歩く滝田敏幸県議



萩原地先から栄町安食地先までの4.5キロメートルについて、バイパス整備を進めております。
現在、面積ベースで約9割の用地を取得しており、これまでに、約3キロメートルの区間において、盛土工事や橋梁工事などを進めてまいりました。
今年度は、引き続き盛土工事を進めるとともに、7月に地元説明会を開催いたしました。栄町の豊年橋付近について、用地取得を進めてまいります。
今後とも、地元関係者の協力を得ながら、早期完成を目指し、事業の推進に努めてまいります。

印旛・手賀沼土地改良

2 揚排水機場の工事進行
滝田議員 印旛沼・手賀沼土地改良事業についてうかがう。平成22年度から行なっている国営印旛沼二期土地改良事業で、印旛沼周辺の基幹水利施設の更新状況について、現在の進捗状況はどうか。
農林水産部長 国営印旛沼二期土地改良事業は、全体で6カ所の揚排水機場の整備を行いますが、平成25年度までに、2カ所の揚排水機場の工事に着手し、事業費ベースで28パーセントの進捗率となっており、概ね順調に推移しているという聞いています。
さらに、本年度末には、

白山甚兵衛揚水機場が完成し、事業全体の受益面積5千ヘクタールの内、約1千ヘクタールの水田へ安定的に農業用水を供給する見込みです。
また、国営事業と同時に施工する必要がある、印西市の県営埜原排水機場の整備につきましても、工事着手に向けた手続きを進めて

いまして、国営事業との連携を図り、事業効果の早期発現に努めてまいります。
老朽化などで更新整備必要
手賀沼土地改良施設
滝田議員 国営手賀沼土地改良事業の現在の進捗状況と今後の見通しはどうか。
農林水産部長 国営事業により造成された土地改良

しており、用地の取得状況については、市が行う小林駅周辺整備事業と一体的な整備を実施しており、小林地区の活性化に寄与する道路と考えております。
現在、駅南口から500メートル区間の整備を進めており、用地の取得状況は面積ベースで約5割となっております。
今後とも、印西市と連携を図りながら、残る用地の取得を進め、駅前広場の進捗に合わせて事業の推進に努めてまいります。

必要であると考えています。このため、年内を目途に、土地改良区や関係市が事業推進協議会を設立できるように、国と連携し、関係機関との調整を積極的に進めてまいります。
要望
期に全関係市から事業の必要性の理解を得て、関係者とともに一致協力、地域住民が安心して暮らせるよう早期の事業化に努めるよう要望する。

このため、後継組織は、公営企業法の適用を視野に入れ、これらの業務を着実に執行できる体制を確保したいと考えています。
滝田議員 企業庁の後継組織において、千葉ニュータウン事業をどのような体制で取り組んでいくのか。
総務部長 千葉ニュータウン事業については、地元自治体との協議・調整を県が、未処分土地の分譲・管理等の業務を都市再生機構が分担し、平成30年度末まで、引き続き共同で事業を実施していくと聞いています。

成田スカイアクセス沿線県有地
メガソーラー事業者
11月末までに決定
滝田議員 千葉ニュータウン事業についてうかがう。成田スカイアクセス沿線の県有地の利活用について、その後の検討状況はどうか。
企業庁長 この用地は北総鉄道と北千葉道路に挟まれ、利用方法が限定されるなど、分譲が困難な土地であることから、メガソーラー事業として貸し付けることといたしました。
これまで、貸付条件や整備上の配慮事項等について検討



9月県議会一般質問を行う
滝田敏幸県議

選定に当たっては、事業者の経営状況や事業計画、貸付地の有効活用といった視点のほか、議員ご指摘のとおり、鉄道用地に隣接する10キロに渡るメガソーラー事業であることから、千葉ニュータウンのイメージアップにつながる取組みなど、地域振興に寄与する提案についても評価を行う方向で検討しています。

県と都市再生機構
引き続き共同事業
千葉ニュータウン
滝田議員 企業庁の後継組織において、千葉ニュータウン事業をどのような体制で取り組んでいくのか。
総務部長 千葉ニュータウン事業については、地元自治体との協議・調整を県が、未処分土地の分譲・管理等の業務を都市再生機構が分担し、平成30年度末まで、引き続き共同で事業を実施していくと聞いています。

貸付事業者を決定し、今年度中に貸付契約を締結したいと考えています。
再質問
滝田議員 貸付事業者選定に当たっての基準は、どのようなものか。地域振興への寄与も重要な視点と考えるがどうか。
企業庁長 貸付事業者の

「北総政経Forum」で当日は西印旛農協本店に、風評被害対策にあたる農業生産者をはじめ関心を持つ多くの市民が参加。滝田県議の放射線問題に対する地道な取り組みも高く評価されました。

高田純・札幌医科大学教授
放射線セミナー開催
滝田県議が主宰する「北総政経Forum」で当日は西印旛農協本店に、風評被害対策にあたる農業生産者をはじめ関心を持つ多くの市民が参加。滝田県議の放射線問題に対する地道な取り組みも高く評価されました。



高田純・札幌医科大学教授
放射線セミナー開催
滝田県議が主宰する「北総政経Forum」で当日は西印旛農協本店に、風評被害対策にあたる農業生産者をはじめ関心を持つ多くの市民が参加。滝田県議の放射線問題に対する地道な取り組みも高く評価されました。